

山梨県立大学 大学院「人間福祉学研究科」設置計画

※設置計画は現在認可申請中 設置計画は予定であり内容が変更になる場合があります

令和6年4月開学予定

— 日本初の虐待対応のプロを育てる大学院 —
— 子ども虐待問題のための新たな実践型大学院 —

山梨県立大学大学院 「人間福祉学研究科」

定員：10名（5名／学年）修士（人間福祉学）

◇子ども家庭福祉分野、保育・幼児教育の分野、ソーシャルワークの分野等幅広く活躍できる能力の修得を目指します。

■修得する能力■

- ・虐待相談業務や心理的ケアを担当できる高度な知識と技能
- ・多職種と連携し、虐待リスクのある子ども・家庭に対する包括的な支援体制を構築できる能力
- ・理論と実践を結びつけ、新たな知見を導き出し、効果的な制度改革や政策等を提言できる能力

授業の特徴

◇学生のニーズに応じた多様な履修プログラムを用意します。

○学生のライフスタイルに合わせたオーダーメイド型の授業形態

- ・昼夜開講制で、働きながら学べる授業体制を用意。授業は平日の夜間（週2～3日間）と土曜に受講。オンラインを用いた遠隔授業と対面授業を併用。

○分野横断型のカリキュラム構成

- ・虐待領域を柱に、子ども理解領域、ソーシャルワーク領域の関連科目から幅広く選択履修。

○現場での実践的な学びと大学教員からの指導助言（スーパーバイズ）による学びの循環

- ・児童相談所、児童養護施設などでの実習・演習と専門的な指導助言を融合し、経験を理論化

養成する人材像

- 虐待対応のスペシャリスト
- 保育現場での虐待早期発見、子どもケアのスペシャリスト
- 多職種連携・家庭支援のスペシャリスト

キャリア展開

- 治療的なケアを実践できる基幹的な施設職員
- 保育所等のリーダー的職員
- 包括的な支援を地域で展開できる児童家庭支援センター等のリーダー的職員
- 行政機関における虐待対策の専門官

入学者選抜

- 学力検査（専門知識）、外国語（英語）、個人面接
短大卒の方には入学資格審査を実施し、受験可能とします